

「千葉県文化芸術推進基本計画」令和6年度実施結果(県実施分)

参考資料1

施策の柱1 あらゆる人々が文化芸術に親しむことができる環境づくり

～文化芸術活動を行う人々の自主性や専門性が尊重されるとともに、障害の有無や年齢等に関わらず誰もが文化芸術活動を行い、鑑賞することができる環境を整備する～

①あらゆる人々が文化芸術に親しむことができる環境づくり

No.	事業名	再掲	事業概要	令和6年度実施結果			担当部署名	
				実施結果	実施結果に対する評価	決算額(千円)	部局名	課名(局名)
1	千葉・県民文化祭		県域芸術文化団体等による絵画や俳句などの公募展や吹奏楽や日本舞踊などの公演を開催し、県民に日頃の文化活動の成果を発表する場と質の高い舞台芸術等を鑑賞する機会を提供する。また、他分野や新たな団体との共同企画による中央行事を開催する。	①千葉・県民文化祭県域文化団体行事 県域で活動する文化芸術団体による絵画や詩、俳句、川柳、写真などの分野を中心とした公募展や合唱、吹奏楽、演劇などの公演等を共催。 事業数：全27件、期間：令和6年7月23日～令和7年2月1日、場所：県立美術館・青葉の森公園芸術文化ホールなど(全県)、関係者：文化芸術団体(全26団体)、来場者(合計)：52,714 ②【千葉・県民文化祭中央行事】 一般公募により舞台出演者を選定し、新たな文化芸術の発表の場を設けた。さらに、アウトリーチとして「ちば文化資産」を舞台としたコンサートを開催し、その様子を後日中央行事で紹介するとともに、Youtube等で配信した。 日程：8月17日(土)、9月1日(日)、9月29日(日)、場所：青葉の森公園芸術文化ホール、関係者：((公財))千葉県文化振興財団・出演者・出品者等(173名)、来場者：一般県民等(1,407名・入場無料)	県民に日頃の文化活動の成果を発表する場と質の高い舞台芸術等を鑑賞する機会を提供と通し、あらゆる人々が文化芸術に親しむことのできる環境づくりに寄与した。 また、他分野や新たな団体との共同企画による事業の実施により、文化芸術活動を行う人々のネットワークの構築を促進することができた。	12,332	環境生活部	スポーツ・文化局文化振興課
2	県立文化会館自主事業、管理運営事業		県立文化会館4館それぞれが館の特徴を生かした事業を実施し、入場者数の増加を図る。また文化会館を適正に管理運営する。	・管理・運営方法：公益財団法人千葉県文化振興財団による指定管理 ・会館利用者数(4館合計)：266,812名 ・利用事業数(4館合計)：2,460件 ・各館の特色を生かし、鑑賞事業、県民参加事業、新進芸術家等の育成事業など、様々な文化事業を実施した。	県民の自主的な文化芸術活動の促進や、文化芸術に触れ親しむ機会の提供に寄与した。	567,712	環境生活部	スポーツ・文化局文化振興課
3	県立美術館・博物館事業		5館8施設の県立美術館・博物館において展示及び教育普及事業を実施する。	各館の特色を生かして、博物館では千葉県の自然・歴史・文化を紹介する展示・体験を、美術館では千葉県ゆかりの作家・作品の展示を行うなど、年間を通じて様々な事業を実施した。 来館者数：677,252人	千葉県の自然・歴史・文化を紹介する展示・体験や、千葉県ゆかりの作家・作品の展示などにより、「あらゆる人が文化に触れ親しむ機会の提供、関心・理解の促進」、「ちばの多様な伝統文化を知る機会の提供」に寄与した。	1,823,220	環境生活部	スポーツ・文化局文化振興課
4	県民芸術劇場		県民に優れた舞台芸術を鑑賞する機会を提供するため、千葉交響楽団の公演を県内各地で行う。	・時期：通年 ・公演数：37公演 (管弦楽4公演、室内管弦楽7公演、室内楽21公演、芸術鑑賞教室5公演) ・会場：県内文化ホール等	県民に優れた舞台芸術を鑑賞する機会を提供し、本県の芸術文化の振興を推進した。	19,282	環境生活部	スポーツ・文化局文化振興課
5	ちば文化交流ボックス		県ホームページに「ちば文化交流ボックス」を設け、ちばの文化情報を紹介するとともに、県主催事業の他、県内各地で行われる文化イベントや県内の文化資源などの情報を提供する。	「文化交流ボックス」内に地域の文化イベント情報などを随時ホームページに掲載した。 累計閲覧者数：2,139,066人	県主催事業やちばの文化関連の情報を提供し、文化振興に寄与した。	-	環境生活部	スポーツ・文化局文化振興課
6	障害者芸術文化活動支援事業		障害のある人や障害福祉サービス事業所等の芸術文化活動(美術及び舞台芸術)を支援する「障害者芸術文化活動支援センター(支援センター)」を設置し、障害のある人の自立と社会参加の促進を図る。	【支援センター】 ・事業期間：4月1日～3月31日 ・実施事業：障害者による文化芸術活動に関する相談受付(45件) 障害当事者や支援者向けの人材育成研修及びワークショップの実施(実施件数：7回、参加者数：235人(延べ数)) ・展覧会等：1月15日～1月26日(展示作品数：326点) 期間中会場を訪れた人数：2,177人 ・巡回による作品展示：県内公共施設等7箇所、ファミリーマート店舗4箇所	「相談受付」、「人材育成講座の開催」、「ネットワークの構築」、「発表等の機会の創出」、「情報収集・発信」の活動により、障害者による文化芸術活動の振興に寄与した。	9,017	環境生活部	スポーツ・文化局文化振興課
7	特別支援学校巡回コンサート		プロのオーケストラによる質の高い優れた演奏を、コンサート会場に出向くことが困難な特別支援学校の児童・生徒に広く提供するため、千葉交響楽団による巡回公演を実施する。	・時期：通年 ・巡回先：県内特別支援学校19校	特別支援学校19校での公演を開催し、コンサート会場に行くのが困難な児童・生徒に優れた音楽鑑賞の機会を提供した。	14,345	環境生活部	スポーツ・文化局文化振興課

①あらゆる人々が文化芸術に親しむことができる環境づくり

No.	事業名	再掲	事業概要	令和6年度実施結果			担当部署名	
				実施結果	実施結果に対する評価	決算額 (千円)	部局名	課名(局名)
8	ちばアクアラインマラソン開催事業		スポーツを通じ千葉が有する様々な魅力を発信するために東京湾アクアラインを活用した事業でランナーへのおもてなし等に文化芸術を活用する。	6年ぶりにフルスベックで開催された「ちばアクアラインマラソン2024」では、27万人の沿道応援のもと、約1万7千人のランナーが参加し、各種取組により、スポーツの振興を図るとともに、千葉の魅力を県内外に発信し、地域の活性化を図れた。	コース沿道では、吹奏楽や和太鼓、ダンスなどの応援パフォーマンスで大会を盛り上げるとともに、観戦者にはスポーツと文化芸術に触れる機会を創出した。	99,585	環境生活部	スポーツ・文化局生涯スポーツ振興課
9	愛鳥週間事業(千葉県愛鳥週間ポスターコンクール)		鳥獣保護思想の奨励・普及啓発を図るため、ポスターコンクールを実施する。	【千葉県愛鳥週間ポスターコンクール】 1. 作品募集 県内の小・中・高等学校等 2. 審査・展示等 審査会(7月)、表彰式(8月)、入賞作品の展示(8月～)	ポスターコンクールを通じて、鳥獣保護思想の普及啓発を図り、また環境保全への関心を広く理解してもらうため、入賞作品を展示した。	891	環境生活部	自然保護課
10	千葉県環境月間ポスター作品募集		環境保全に関するポスター作品を募集し、入賞作品を表彰し公表するとともに、啓発資料等に活用する。	応募数904作品のうち、最優秀賞4、優秀賞8、奨励賞72の作品を表彰した。このうち優秀賞以上の12作品について表彰式を開催し、奨励賞以上の84作品について県立博物館にて入賞作品の展示を行った。	環境保全に対する県民意識の高揚と知識の普及を図られた。	726	環境生活部	循環型社会推進課
11	さわやかちば県民プラザ事業		音楽ワークショップ、ザ・ワールドオブプラス、高校生バンドフェスティバルなどを実施する。	県民の自主的な文化活動の促進及び文化活動の機会の提供に向けて4事業を実施した。 ①音楽ワークショップ・概要:「柏の葉吹奏楽団」を結成し、吹奏楽の体験講座を実施した。発表の場として晩秋のコンサート、新春のコンサートを実施した。参加者:5,130人 ②東葛飾文化祭・概要:東葛飾地域の文化の発展に寄与する人材の育成を図るとともに、文化団体相互の親睦、交流を図り、芸術文化活動の促進の場として実施した。参加者:8,486人 ③ザ・ワールドオブプラス:概要:東関東地区(千葉県、茨城県、神奈川県、栃木県)の中学校、高校の吹奏楽部全23校がフロアマーチングの発表を実施した。参加者:6,951人 ④高校生バンドフェスティバル・概要:県内の高校生バンド22組が演奏を披露するコンサートを実施した。参加者450人	参加者自らが創り上げる文化活動を支援するとともに、文化活動が多く県民に触れる場となるよう広報も工夫した。	429	教育庁	生涯学習課
12	県立図書館事業		①県民への情報提供・図書の貸出②書籍の収集整備③読み聞かせボランティアの育成・特別支援学校訪問読書支援④図書館ネットワークの構築・運用⑤読書バリアフリーの普及を行う。	①県民への情報提供・図書の貸出 図書館情報システムを運用し、個人や図書館等への貸出、蔵書管理、所蔵資料情報の公開等を行った。(令和5年3月にシステム更新) ・ホームページのアクセス数:522,830件、Web予約件数:66,193件、個人貸出冊数:99,049冊、図書館等への協力貸出:88,318冊 ②書籍の収集整備 市町村立図書館等では購入しづらい専門書や参考書を中心に11,742冊(中5,116、西4,067、東2,559)を購入整備した。 ・電子書籍購入(R6.5月電子書籍サービス導入)4,850点(読み上げ機能付き含む) ③-1 読み聞かせボランティア指導者養成講座 ・期間・場所:8月21日、12月6日 ・回数:2回、教育会館 ・参加者(合計):高校職員(20名)、一般図書館職員(15名) ③-2 特別支援学校訪問読書支援 ・期間:通年 ・回数:24校26回 ・場所:各特別支援学校 ・参加者(合計):特別支援学校教職員・児童・生徒等(1,676名) ④図書館ネットワークの構築・運用 県内図書館や県立学校等へ図書館ネットワークを通じて198,520冊の貸出しを行った。 ⑤読書バリアフリーの普及 読書バリアフリー講座、サピエ図書館活用講座 ・期間:通年 ・回数:4回 ・場所:中央図書館、東部図書館、流山市 ・参加者(合計):107名(中読バリ56、中サピ12、西32、東7)	県民の読書や調査研究活動の支援、読み聞かせボランティアの育成、市町村立図書館等への協力援助等を行うことにより、読書環境の向上や文化振興に寄与した。	205,965	教育庁	生涯学習課

①あらゆる人々が文化芸術に親しむことができる環境づくり

No.	事業名	再掲	事業概要	令和6年度実施結果			担当部署名	
				実施結果	実施結果に対する評価	決算額 (千円)	部局名	課名(局名)
13	「ゆめみるチーバくん」ダンス関連事業		千葉県マスコットキャラクター「チーバくん」と共に「千葉アイデンティティ」の醸成と魅力発信を目指すため、また、県民に広く芸術(舞踏)に親しむ機会を創出するため、チーバくんキャラバン隊が「ゆめみるチーバくんダンス」をイベントや県内の学校等を訪問して普及する。	ダンスキャラバン隊の活用について、年度当初に学校向けにリーフレットを配付し、希望のあった50校に対し「ゆめみるチーバくん」のダンスレクチャーを行った。また、県主催のイベントをはじめ、ショッピングモール等でもダンスステージを展開するなどし、ダンスを通して「千葉アイデンティティ」の醸成と魅力発信を行った。	チーバくんのダンスを通して、県民を中心に広く千葉県の魅力発信をすることができた。	24,770	総合企画部	報道広報課
14	全日本中学生水の作文コンクール		「水の日」の趣旨にふさわしい事業の一環として次代を担う中学生を対象に「水について考える」をメインテーマに作文コンクールを行う。	県内各地から120編の応募があり、最優秀賞1編、優秀賞2編、奨励賞2編、学校賞1校を選定した。 (主催者:水循環政策本部・国土交通省・千葉県) 1. 作品募集 募集テーマ:「水について考える」、募集対象者:県内在住・在学の中学生、募集期間:3月8日～5月9日、応募数:120編 2. 表彰 千葉県自治会館にて表彰式を実施。 3. 作品の展示・公表 「水の週間」である8/1～8/7に県庁1階連絡通路及び19階掲示板に受賞作品を展示。また、コンクールの様子や受賞作品を県HPに公表。	本コンクールを実施することで、中学生の子ども達が文化芸術活動に参加できる機会を提供した。 また、受賞作品を展示及びHP上に公表するなど、芸術作品を鑑賞する機会を提供することで、あらゆる人々が文化芸術に親しむことができる環境づくりに寄与した。	67	総合企画部	水政課
15	千葉県歯・口の健康に関する図画・ポスターコンクール		県内公立小中学校及び特別支援学校・学級の児童・生徒を対象に、歯・口の健康に関するポスターを募集し、表彰することによって、口腔保健に関する正しい知識を普及啓発し、県民の健康の保持増進に寄与する。	1 作品募集 (1)対象・応募数 小学校低学年9,783点、小学校高学年6,957点、中学校477点、特別支援学校・学級362点 (2)募集期間 4月15日から6月14日まで (3)目的・テーマ 口腔保健に関する正しい知識の普及啓発 2 審査会・表彰(7月4日) (1)小学校低学年、小学校高学年、中学校の部 各部門県知事賞1名、県教育長賞1名、県歯科医師会長賞1名 (2)特別支援学校・学級の部 県教育長賞3名、県歯科医師会長賞3名	多くの児童及び生徒に応募いただくとともに、優秀作品15点については知事賞や教育長賞等を授与し、口腔保健に関する正しい地域の普及啓発や県民の健康の保持増進に寄与することができた。	0	健康福祉部	健康づくり支援課
16	心の輪を広げる障害者理解促進事業		障害のある人に対する理解の促進を図るため、「心の輪を広げる体験作文」及び「障害者週間のポスター」を公募する。	1 作品募集 (1)対象・応募数 【作文】小学生・中学生・高校生・一般(4区分、計25作品) 【ポスター】小学生・中学生(2区分、計12作品) (2)募集期間 7月1日から9月5日まで (3)目的・テーマ 「障害者週間」の実施に伴い、障害者に対する国民の理解の促進を図ること 2 表彰 ・ 知事最優秀賞(6区分、6名)、知事優秀賞(4区分、4名)、社会福祉法人千葉県身体障害者福祉協会理事長賞(6区分、6名)の計16名(重複者1名を含む)を表彰 ・ 11月12日に青葉の森公園芸術文化ホールで開催された、第56回千葉県身体障害者福祉大会において表彰を行った。 ・ 最優秀賞作品は内閣府へ推薦した。	募集テーマに則った作文やポスター作品を応募いただき、優秀作品を表彰するなどにより、障害のある人に対する理解を促進することができた。	—	健康福祉部	障害者福祉推進課

①あらゆる人々が文化芸術に親しむことができる環境づくり

No.	事業名	再掲	事業概要	令和6年度実施結果			担当部署名	
				実施結果	実施結果に対する評価	決算額 (千円)	部局名	課名(局名)
17	若年層対策献血啓発事業		中高生から献血啓発ポスターの募集を行う。	1 作品募集 (1)対象・応募数 県内中学校・高等学校に在学中の生徒(中学生283点、高校生169点) (2)募集期間 7月1日～9月3日 (3)目的・テーマ 若年層の献血の意識付け・献血啓発ポスター 2 表彰 ・10月22日(火)、千葉県献血功労者・献血推進啓発作品表彰式で表彰 ・知事賞・部長賞についてはポスター・リーフレット等で使用	多くの生徒に作品を応募いただくとともに、優秀作品を表彰するなどにより、献血の意識付け、啓発を行うことができた。	225	健康福祉部	薬務課
18	千葉県福祉ふれあいプラザ管理運営事業		「ふれあいホール」の運営を通して、高齢者をはじめとする県民にスポーツ・文化等に関する活動の機会を提供する。	「ふれあいホール」の運営 高齢者をはじめとする県民にスポーツ・文化等に関する活動の提供 令和6年度年間利用者数 102,407名	高齢者をはじめとする県民にスポーツ・文化等に関する活動の場を提供した	93,500	健康福祉部	高齢者福祉課
19	手をつなぐ作品展事業		心身障害児・者に対する正しい知識と理解を促進するとともに、心身障害児・者の福祉の向上を図るため、県内の小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校に障害に関する作文を募集し、優秀作品を表彰する。また、併せて優秀作品をまとめた作品集を作成し、関係機関に配布する。	1 作品募集 (1)対象・応募数 県内に居住する小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校の児童及び生徒(出品校14校、応募作品総数42点) (2)募集期間 8月1日から10月19日まで (3)目的・テーマ 【目的】心身障害児・者に対する正しい知識と理解を促進するとともに、心身障害児・者の福祉の向上を図ること 【テーマ】心身障害児・者に対する理解を深める内容のもの 2 審査会(入賞者決定、12月5日)・表彰(2月23日) ・入賞作品集を作成し、県内小・中・高・特別支援学校、関係機関に配布した。 ・千葉県肢体不自由児協会のホームページや機関誌にて、入賞者及び作品を公開した。	多くの児童及び生徒に応募いただくとともに、優秀作品11点については、知事賞や教育長賞等を授与し、表彰式が報道される等、県民の障害者への理解を広めることができた。	246	健康福祉部	障害者福祉推進課
20	千葉県建築文化賞		安全で快適な建築空間の創出や環境負荷低減などに優れた建築物の普及啓発のため、千葉県建築文化賞を開催し、優良建築物の表彰を行う。ホームページ、ポスター、パンフレット等により作品の募集を行い、その表彰結果を紹介するなど、建築文化や居住環境に対する県民の意識の高揚を図る。	1. 作品募集 募集部門:一般建築物の部、住宅の部、募集期間:7月1日～9月30日 作品応募数:56作品 2. 審査結果 最優秀賞2点、優秀賞2点、入賞5点、計9点を表彰した。 3. 表彰式 令和7年3月17日に中庁舎10階大会議室で、表彰式を実施した。	県の機関や鉄道会社等に募集ポスターや受賞作品紹介パネルの展示を依頼するなど広報活動に力を入れ、より多くの人々が県内のすばらしい建築作品に触れ、文化活動に参加し発表する機会を提供した。	1,252	県土整備部	建築指導課
21	千葉県議会議場演奏		県民文化の向上発展のため昭和62年度以来、改選後の6月定例会招集日の冒頭に、議場で公益財団法人千葉交響楽団による演奏会を実施している。	実施なし ※当行事は4年に1回程度の頻度で実施を検討している。			議会事務局	
22	県警音楽隊派遣		要請により、小・中学校、その他各種イベント会場に音楽隊を派遣し、演奏を通じた警察広報を行う。	派遣日数114日、式典、カラーガード隊のドリル演技など合計221回の演奏を行った。(令和6年1月～令和6年12月)	警察広報を通じ幅広い層の県民が文化芸術に親しむ機会を提供できた。	0	警察本部	
23	県警音楽隊金曜コンサート		4月から10月(7～8月を除く。)までの間の金曜日に、実施。	県立羽衣公園(4月19日)、きぼーる1階アトリウム(5月17日、9月13日)、千葉市役所1階市民ヴォイド(6月21日)で実施。県立羽衣公園(10月18日)は雨天により中止。(予定5件のうち、実施4回、中止1回)	警察広報を通じ幅広い層の県民が文化芸術に親しむ機会を提供できた。	0	警察本部	
24	県警音楽隊定期演奏会		演奏を通じて県民とのふれあいを深め、警察活動に対する県民の理解と協力を得るために、演奏会を行う。	11月30日(土)青葉の森公園芸術文化ホールで午前の部、午後の部、2回の演奏を実施した。	警察広報を通じ幅広い層の県民が文化芸術に親しむ機会を提供できた。	1,069	警察本部	

②文化芸術活動の担い手やそれを支える人材の育成・支援・活用

No.	事業名	再掲	事業概要	令和6年度実施結果			担当部署名	
				実施結果	実施結果に対する評価	決算額(千円)	部局名	課名(局名)
25	県立文化会館自主事業、管理運営事業	再掲	県立文化会館4館それぞれが館の特徴を生かした事業を実施し、入場者数の増加を図る。また文化会館を適正に管理運営する。	・管理・運営方法:公益財団法人千葉県文化振興財団による指定管理 ・会館利用者数(4館合計):266,812名 ・利用事業数(4館合計):2,460件 ・各館の特色を生かし、鑑賞事業、県民参加事業、新進芸術家等の育成事業など、様々な文化事業を実施した。	県民の自主的な文化芸術活動の促進や、文化芸術に触れ親しむ機会の提供に寄与した。	567,712	環境生活部	スポーツ・文化局文化振興課
26	公立文化施設担当者研修会		県内の文化施設の設置者及び運営者に対し、文化施設の管理運営業務に関する情報提供を図る目的で、研修会を開催する。	県内の文化施設の設置及び運営者に対し、研修会を開催した。 日時:令和7年3月6日(木) 会場:県庁南庁舎4階会議室及び千葉県文化会館 テーマ:『「千葉文化の森」と文化会館設計者の大高正人について』 :千葉県文化会館大規模改修工事について 講師:千葉県県土整備部施設改修課 鶴澤 鶴之介 課長 :改修工事実施設計業者 参加者:26名	本事業の実施により、文化施設の管理運営に携わる職員等の育成・能力の向上を図ることができた。	0	環境生活部	スポーツ・文化局文化振興課
27	表彰の実施		千葉県において文化の振興に関し特に功績の顕著であった個人又は団体の候補者を表彰する。	令和6年度推薦(文化振興課のみ) ・教育功労者表彰(教育長):個人4名、1団体 ・文化の日千葉県功労者表彰(知事):個人2名 ・地域文化功労者(文部科学大臣):個人1名 ・社会教育功労者表彰(文部科学省):個人1名 ・叙勲(内閣府):個人1名	被表彰者が活動する文化芸術分野の活性化に寄与した。		環境生活部教育庁	スポーツ・文化局文化振興課 文化財課
28	千葉交響楽団による活動等		千葉県のプロ・オーケストラである千葉交響楽団に対し、運営費の一部を補助することにより、県民に親しまれるオーケストラとして定着させるとともに、本県の音楽文化の振興に資する。	・主催公演:9公演(定期演奏会3回、特別演奏会6回)	子どもたちの文化芸術活動の充実や、高齢者・障害のある人等の文化芸術活動の充実に寄与した。	42,962	環境生活部	スポーツ・文化局文化振興課
29	文化活動ボランティアネットワーク		文化情報ポータルサイト「ちば文化交流ボックス」内に「文化活動ボランティアネットワーク」のページを設け、文化活動ボランティアをしたい方とお願いしたい方の両者を結びつける手助けをする。	登録情報の更新と文化活動ボランティアをしたい方とお願いしたい方のマッチングを行った。 ・文化活動ボランティア登録数:68件 ・文化活動ボランティア依頼件数:115件(うち成立数48件)	文化活動ボランティアをしたい方、お願いしたい方双方が文化活動に関わる機会を提供した。	-	環境生活部	スポーツ・文化局文化振興課
30	障害者芸術文化活動支援事業	再掲	障害のある人や障害福祉サービス事業所等の芸術文化活動(美術及び舞台芸術)を支援する「障害者芸術文化活動支援センター(支援センター)」を設置し、障害のある人の自立と社会参加の促進を図る。	【支援センター】 ・事業期間:4月1日～3月31日 ・実施事業:障害者による文化芸術活動に関する相談受付(45件) 障害当事者や支援者向けの人材育成研修及びワークショップの実施(実施件数:7回、参加者数:235人(延べ数)) ・展覧会等:1月15日～1月26日(展示作品数:326点) 期間中会場を訪れた人数:2,177人 ・巡回による作品展示:県内公共施設等7箇所、ファミリーマート店舗4箇所	「相談受付」、「人材育成講座の開催」、「ネットワークの構築」、「発表等の機会の創出」、「情報収集・発信」の活動により、障害者による文化芸術活動の振興に寄与した。	9,017	環境生活部	スポーツ・文化局文化振興課
31	ちば文化交流ボックス	再掲	県ホームページに「ちば文化交流ボックス」を設け、ちばの文化情報を紹介するとともに、県主催事業の他、県内各地で行われる文化イベントや県内の文化資源などの情報を提供する。	「文化交流ボックス」内に地域の文化イベント情報などを随時ホームページに掲載した。 累計閲覧者数:2,139,066人	県主催事業やちばの文化関連の情報を提供し、文化振興に寄与した。	-	環境生活部	スポーツ・文化局文化振興課
32	文化芸術のミライ応援補助金		将来を担う若者による文化芸術活動の推進を図るため、若者が主体となって参加して実施する事業に対し助成する。	「文化芸術のミライ応援補助金」申請内容を審査し、補助金を交付した。 ・補助対象事業の実施期間:6月1日～2月28日 ・補助対象:39歳以下の者が主体となって参加して実施する発表・公開事業、参加体験事業 ・補助対象経費:2/3以内(上限20万円) ・補助金交付者数(個人・団体):【申請数】4者4事業/【交付数】4者4事業	4者4事業が実施され、県民に様々な分野の文化芸術に触れる機会を提供し、また、文化芸術の発表の機会を設けることにより、文化振興に寄与した。	800	環境生活部	スポーツ・文化局文化振興課
33	文化振興事業の後援		県民の文化芸術活動を支援するため、文化芸術活動に関する公演や展覧会等の行事に対して、県後援名義の使用承認を行う。	名義後援を140件行った。	県民の文化芸術活動の支援に寄与した。	-	環境生活部	スポーツ・文化局文化振興課

③文化施設等(文化会館、美術館・博物館等)の機能の充実

No.	事業名	再掲	事業概要	令和6年度実施結果			担当部署名	
				実施結果	実施結果に対する評価	決算額(千円)	部局名	課名(局名)
34	千葉県文化会館大規模改修事業		千葉県文化会館は昭和42年に供用を開始し、建物の老朽化が進んでいることから、大規模改修を通して、改修後40年間の使用を見込むための建物機能の回復や、既存不適格となっている特定天井の改修、バリアフリー対策(エレベーターの新設、自動ドア・スロープの整備、トイレの洋式化)、省エネ対策など各種対策を行い、安全性・機能性・効率性・サービスの向上を目指す。	令和5年度より改修工事を開始した。年度末における改修の進捗状況は以下のとおり 機械 予定98%実績98% ・電気 予定98%実績98% ・建築 予定99.8%実績99.8%	各工事概ね予定通りに工事が進んでいる。	4,574,108	環境生活部	スポーツ・文化局文化振興課
35	県立学校施設開放事業		県立学校の文化施設や、学校開放を目的として建設された地域交流施設等の開放を行い、生涯学習関連団体等の活動支援を行う。	実施場所7校(文化施設5校、交流施設2校)	全ての学校において、施設開放を実施することができた。ただし、匝瑳高等学校においては、活動団体はなかった。	1,552	教育庁	生涯学習課
36	県立文化会館自主事業、管理運営事業	再掲	県立文化会館4館それぞれが館の特徴を生かした事業を実施し、入場者数の増加を図る。また文化会館を適正に管理運営する。	・管理・運営方法:公益財団法人千葉県文化振興財団による指定管理 ・会館利用者数(4館合計):266,812名 ・利用事業数(4館合計):2,460件 ・各館の特色を生かし、鑑賞事業、県民参加事業、新進芸術家等の育成事業など、様々な文化事業を実施した。	県民の自主的な文化芸術活動の促進や、文化芸術に触れ親しむ機会の提供に寄与した。	567,712	環境生活部	スポーツ・文化局文化振興課
37	県立美術館・博物館事業	再掲	5館8施設の県立美術館・博物館において展示及び教育普及事業を実施する。	各館の特色を生かして、博物館では千葉県の自然・歴史・文化を紹介する展示・体験を、美術館では千葉県ゆかりの作家・作品の展示を行うなど、年間を通じて様々な事業を実施した。 来館者数:677,252人	千葉県の自然・歴史・文化を紹介する展示・体験や、千葉県ゆかりの作家・作品の展示などにより、「あらゆる人が文化に触れ親しむ機会の提供、関心・理解の促進」、「ちばの多様な伝統文化を知る機会の提供」に寄与した。	1,823,220	環境生活部	スポーツ・文化局文化振興課

施策の柱2 ちばの多様な伝統文化が輝き続ける地域づくり ～県内各地で守られてきた伝統文化を地域で活用し、未来に継承する～

④ちばの多様な伝統文化を知る機会の提供

No.	事業名	再掲	事業概要	令和6年度実施結果			担当部署名	
				実施結果	実施結果に対する評価	決算額 (千円)	部局名	課名(局名)
38	「ちば文化資産」PR事業		平成30年度に選定した「次世代に残したいと思う『ちば文化資産』」のPRを行い、ちばの文化的魅力を発信する。	①クリアファイル、パンフレット、ポスター等令和5年度に作成した各種PR資材の増刷し、観光・文化施設やイベント等で活用し、周知を図った。 ②観光部局と連携したフォトキャンペーン「あなたのLOVE CHIBA教えてキャンペーン Season13」を実施した。期間:9月1日～12月31日 ③SNSの投稿やHPによる情報発信やフリーペーパーへの広告記事掲載により周知を図った。	「ちば文化資産」に関連したキャンペーン等の実施やSNSの活用等により、千葉の文化的魅力を多くの方に周知できた。	1,686	環境生活部	スポーツ・文化局文化振興課
39	伝統芸能・洋楽～ふれあい体験事業		小・中学生を対象に、邦楽・洋楽のプロの演奏者を派遣して、鑑賞及び楽器体験を行う。	・内容:洋楽、伝統芸能(能楽・雅楽・三曲) ・時期:通年 ・派遣先:県内小中学校27校 (洋楽:5校/伝統芸能(能楽8校・雅楽8校・三曲6校):22校)	県内の小・中学校の児童・生徒を対象に、伝統芸能・洋楽の演奏者等を派遣し、伝統芸能の一層の普及・振興、後継者の育成、及び小・中学生の演奏力のレベルアップ等に寄与した。	4,075	環境生活部	スポーツ・文化局文化振興課
40	「ちば」の文化芸術発信事業		伝統文化等の保存・継承に取り組むとともに、県民の文化芸術活動の発展につなげるため、本県の魅力的な文化芸術を発信するための舞台公演を県民が参加できる形で実施する。	① 千葉響×幕総オケ部スペシャルコンサート～千葉が奏でる響き～ 開演日:令和6年12月22日 会場:千葉県南総文化ホール 来場者数:916名 ② 野村万作・萬斎・裕基 青葉の森狂言の会～狂言三代～ 開演日:令和7年1月8日 会場:青葉の森公園芸術文化ホール 来場数:720名 ③みんなで楽しむ邦楽コンサート(箏曲・尺八編) 開演日:令和7年1月18日 会場:青葉の森公園芸術文化ホール 来場者数:852名 ④魅力発見!ちばの郷土芸能フェスティバル 開演日:令和7年2月15日 会場:千葉県東総文化会館 来場者数:725名	県民の文化芸術活動の促進や、子どもから大人まで幅広い世代が伝統芸能、郷土芸能に触れ、親しむ機会の提供に寄与した。	19,959	環境生活部	スポーツ・文化局文化振興課
41	伝統的工芸品産業振興事業		県内の伝統工芸品を地場産業として育成するため、以下の取組を行う。 (1)独自の指定制度による千葉県伝統的工芸品の指定 (2)千葉県伝統的工芸品一覧の作成やホームページによる紹介 (3)後継者養成事業を実施する市町村に助成 (4)国指定伝統的工芸品房州うちわ及び千葉工匠具の振興計画実施のための費用を助成 (5)国指定伝統的工芸品房州うちわ及び千葉工匠具の全国・関東規模の伝統的工芸品展への参加 (6)伝統的工芸品の販売促進事業の実施	(1)令和6年度は4件の新規指定申請があり、このうち4件全てを指定した。 (衣裳着人形、佐原太鼓、房州切り子、手描襖絵) (2)上記の新規指定の状況をふまえ、一覧及びホームページを最新の情報に更新した。 (3)令和6年度は助成金の申請なし (4)房州うちわ振興協議会からは計画の提出があり、うちわの製作講座に係る費用について補助金を支出した。 (5)房州うちわ及び千葉工匠具ともに、関東伝産協会が実施する展示販売秋に出展した。 (6)令和7年2月、イオンモール幕張新都心にて、県指定伝統的工芸品の展示販売会を実施した。また、同じく2月に、伝統的工芸品の製作者向けの講座(ブランディングに係ること、SNS映える写真の撮影方法に係ること)を実施した。	(1)～(5)の各項目については例年と変わりなく、適切に実施・情報更新をすることができた。 (6)の伝統的工芸品の製作者向け講座については令和6年度が初めての実施であったが、時代に即したプロモーションの方法を製作者に伝えることができ、一定程度の効果があつたものとする。	7,166	商工労働部	観光政策課
42	「ちばの花植木産地」パワーアップ事業 (平成26～30年度 国産花きイノベーション推進事業 令和元～4年度 次世代国産花き確立推進事業)		県産花植木を活用したディスプレイ生け花や日本庭園等の展示、植木伝統樹芸実演会の開催などにより、生産技術の向上と県産花植木の魅力の発信を図る。	・県産花きディスプレイ(R7.1.17～19)(そごう千葉店) ・県産花きディスプレイ(R7.1.31～2.2)(池袋サンシャインシティ) ・日本庭園の展示(R7.1.25～2.3)(成田空港) ・植木伝統樹芸実演会(R7.1.31)(成田空港)	県産花きの展示や、植木を用いた日本庭園の展示、植木伝統樹芸実演会の実施により、日本の伝統文化に触れる機会を創出した。	2,889	農林水産部	生産振興課
43	ちばの食育活動促進事業		市町村、関係団体、ちば食育サポート企業、ちば食育ボランティア等との連携・協働による広報・啓発活動や体験活動による食育推進運動の展開を図る事業。ちば食育ボランティアには、郷土料理の伝承のための活動を行っている方々も含まれている。	・食育の推進に向けた動画の普及やリーフレット類の配布、地域における活動交換会の開催、食育ボランティアに対する研修会等を行った。 ・食育啓発リーフレットの配付:6種類 ・地域食育活動交換会の開催(書面開催を含む):10地域 ・ちば食育ボランティア研修会:1回	食育ボランティア等の活動の中には、郷土料理や地域の農林水産物について学ぶ機会となっているものもある。令和6年度開催のちば食育ボランティア研修会では、郷土料理である太巻き寿司の普及に関する事例発表があり、参加者の地域の食文化に対する知識を広げる機会となった。	4,906	農林水産部	環境農業推進課

④ちばの多様な伝統文化を知る機会の提供

No.	事業名	再掲	事業概要	令和6年度実施結果			担当部署名	
				実施結果	実施結果に対する評価	決算額(千円)	部局名	課名(局名)
44	水産物消費・食育対策事業		おさかな普及員の派遣、食育実習の情報提供及び魚食普及パンフレットの作成・配布を行い、魚食普及を通じて「食育」を推進する。	①要望のあった県内の小中高等学校等の調理実習に、講師としておさかな普及員を派遣した。(派遣回数:10回) ②小中高等学校等の調理実習に対して県産水産物を提供した。 ③魚食普及パンフレットを配布した。	①アジやマイワシを食材として用いて、千葉県産の郷土料理である「なめろう」や「さんが焼き」の伝承に努めた。 ②小中高等学校等の調理実習に対して県産水産物を提供し、県産水産物の利用促進を図った。 ③水産物や地域の特色ある魚に関する県民の理解を深めるため、魚食普及パンフレットを配布した。	946	農林水産部	水産局水産課
45	千葉県無形民俗文化財連絡協議会		国・県指定の無形民俗文化財保持団体を会員とする団体で、「房総の郷土芸能」、特定ジャンルの民俗芸能上演会の公開事業や会報の発行等の事業を実施。	・「令和6年度房総の郷土芸能」を長生村文化開会で令和7年1月19日に開催した。山武・長生地域の7つの民俗芸能団体が出演、一般県民等520名の来場者(入場無料)があった。 ・富津市の県指定無形民俗文化財「吾妻神社の馬だし祭り」の記録映像作成を行った。 ・「千葉県の無形民俗文化財」20号の会誌を発行した。	普段は地元の祭りで見られない郷土芸能が一同に会し、地元の方だけでなく、多くの人々の前で芸能を披露することで、保存・継承の機運が高まった。	2,052	教育庁教育振興部	文化財課
46	出土文化財管理活用事業		発掘調査で出土した実物資料等を用い、出張展示・出前授業・体験学習指導等を実施するとともに出土品を利用した学習キットを作成し、特別支援学校への配付と配付済のキットをメンテナンスする事業。	出土文化財を活用した出前授業・体験学習等を実施した。(90件:小学校40件/特別支援学校1件/公民館等20件/博物館8件/キッズルーム等7件/イベント5件/研修等6件/貸出3件) 作成した学習キットを必要な特別支援学校に配付し、配付済みの小学校向け学習キットのメンテナンスをおこなった。	前年度から参加者が若干減少したが、利用者の評価は高く、リピーターが多い。新規の利用者拡大が課題である。	2,157	教育庁	文化財課

⑤伝統文化の保存・継承

No.	事業名	再掲	事業概要	令和6年度実施結果			担当部署名	
				実施結果	実施結果に対する評価	決算額(千円)	部局名	課名(局名)
47	「ちばの花植木産地」パワーアップ事業		植木伝統樹芸士・銘木100選の選定などを行う。	・「植木伝統樹芸士」「植木銘木100選」ともに募集をしたが、認定には至らなかった。	新規の認定はなかったが、植木伝統樹芸士・銘木100選の選定を通じて、伝統的な植木造形技術・知識(接ぎ木や割りなど)の保存・継承などに資することができた。	136	農林水産部	生産振興課
48	千葉県無形民俗文化財連絡協議会	再掲	国・県指定の無形民俗文化財保持団体を会員とする団体で、「房総の郷土芸能」、特定ジャンルの民俗芸能上演会の公開事業や会報の発行等の事業を実施。	・「令和6年度房総の郷土芸能」を長生村文化開会で令和7年1月19日に開催した。山武・長生地域の7つの民俗芸能団体が出演、一般県民等520名の来場者(入場無料)があった。 ・富津市の県指定無形民俗文化財「吾妻神社の馬だし祭り」の記録映像作成を行った。 ・「千葉県の無形民俗文化財」20号の会誌を発行した。	普段は地元の祭りで見られない郷土芸能が一同に会し、地元の方だけでなく、多くの人々の前で芸能を披露することで、保存・継承の機運が高まった。	2,052	教育庁教育振興部	文化財課
49	伝統芸能・洋楽～ふれあい体験事業	再掲	小・中学生を対象に、邦楽・洋楽のプロの演奏者を派遣して、鑑賞及び楽器体験を行う。	・内容:洋楽、伝統芸能(能楽・雅楽・三曲) ・時期:通年 ・派遣先:県内小中学校27校 (洋楽:5校/伝統芸能(能楽8校・雅楽8校・三曲6校):22校)	県内の小・中学校の児童・生徒を対象に、伝統芸能・洋楽の演奏者等を派遣し、伝統芸能の一層の普及・振興、後継者の育成、及び小・中学生の演奏力のレベルアップ等に寄与した。	4,075	環境生活部	スポーツ・文化局文化振興課
50	伝統的工芸品産業振興事業	再掲	県内の伝統工芸品を地場産業として育成するため、以下の取組を行う。 (1)独自の指定制度による千葉県伝統的工芸品の指定 (2)千葉県伝統的工芸品一覧の作成やホームページによる紹介 (3)後継者養成事業を実施する市町村に助成 (4)国指定伝統的工芸品房州うちわ及び千葉工匠具の振興計画実施のための費用を助成 (5)国指定伝統的工芸品房州うちわ及び千葉工匠具の全国・関東規模の伝統的工芸品展への参加 (6)伝統的工芸品の販売促進事業の実施	(1)令和6年度は4件の新規指定申請があり、このうち4件全てを指定した。(衣裳着人形、佐原太鼓、房州切子、手描襷絵) (2)上記の新規指定の状況をふまえ、一覧及びホームページを最新の情報に更新した。 (3)令和6年度は助成金の申請なし (4)房州うちわ振興協議会からは計画の提出があり、うちわの製作講座に係る費用について補助金を支出した。 (5)房州うちわ及び千葉工匠具ともに、関東伝産協会が実施する展示販売秋に出展した。 (6)令和7年2月、イオンモール幕張新都心にて、県指定伝統的工芸品の展示販売会を実施した。また、同じく2月に、伝統的工芸品の製作者向けの講座(ブランディングに係ること、SNS映える写真の撮影方法に係ること)を実施した。	(1)～(5)の各項目については例年と変わりなく、適切に実施・情報更新をすることができた。 (6)の伝統的工芸品の製作者向け講座については令和6年度が初めての実施であったが、時代に即したプロモーションの方法を製作者に伝えることができ、一定程度の効果があったものとする。	7,166	商工労働部	観光政策課

⑥文化財・文化的景観等の保存と活用

No.	事業名	再掲	事業概要	令和6年度実施結果			担当部署名	
				実施結果	実施結果に対する評価	決算額 (千円)	部局名	課名(局名)
51	出土文化財管理活用事業	再掲	発掘調査で出土した実物資料等を用い、出張展示・出前授業・体験学習指導等を実施するとともに出土品を利用した学習キットを作成し、特別支援学校への配付と配付済のキットをメンテナンスする事業。	出土文化財を活用した出前授業・体験学習等を実施した。(90件:小学校40件/特別支援学校1件/公民館等20件/博物館8件/キッズルーム等7件/イベント5件/研修等6件/貸出3件) 作成した学習キットを必要な特別支援学校に配付し、配付済みの小学校向け学習キットのメンテナンスをおこなった。	前年度から参加者が若干減少したが、利用者の評価は高く、リピーターが多い。新規の利用者拡大が課題である。	2,157	教育庁	文化財課
52	文化財保護審議会		文化財指定・登録のための調査・審議、諮問に対する答申、既指定文化財の保存状況調査・保存管理に係る指導助言を行う。	・文化財保護審議会を年4回開催し、文化財調査結果の報告、審議を行った。 ・教育委員会が諮問し、審議会から1件の指定・6件の登録の答申を受けた。	文化財の指定・登録を着実に実施できた。管理に係る指導助言について、市町村・所有者と情報共有し、文化財の保護に資することができた。	1,134	教育庁教育振興部	文化財課
53	指定候補文化財等調査事業		千葉県にとって重要な文化財を永く保護するため指定候補となる文化財調査及び既指定文化財の保存状況の調査を行う。	・文化財保護審議委員による指定候補文化財の調査、指定文化財の保存状況調査を13件実施した。 ・登録候補文化財の調査を課職員が適宜実施した。	指定・登録候補文化財調査、保存状況調査は、十分な調査を実施し、新指定・登録、文化財管理の向上につなげた。	1,134	教育庁教育振興部	文化財課
54	文化財保存整備助成事業		国及び県指定文化財の所有者が行う保存修理等に係る助成事業。	・所有者及び市町村が実施する国及び県指定文化財の保存修理等事業について、補助を行った。 ・国指定文化財については、「伊能忠敬関係資料(香取市)」等、計13件について補助した。 ・県指定文化財については、「猿田神社本殿(銚子市)」等、計11件について補助した。	保存修理等事業について、適正に補助を行い、適切な文化財の管理が行われた。 文化財の整備により、多くの人々に文化財の魅力を周知でき、用具の修理等により、無形民俗文化財の保存と継承に資することができた。	54,896	教育庁	文化財課
55	文化財管理助成事業		国指定文化財の防災設備点検等の所有者が行う維持管理事業に係る助成事業。	・所有者が行う国指定文化財の防災設備点検等の維持管理事業について、補助を実施した。 ・国指定重要文化財の「鳳来寺観音堂(市原市)」等、計16件について補助した。 ・国天然記念物「成東東金食虫植物群落(山武市)」の管理事業について補助した。	防災設備点検等の維持管理事業について適正に補助を行い、適切な文化財の管理が行われた。	1,745	教育庁	文化財課
56	史跡等購入助成事業		史跡を保存活用するために市町村が行う公有化の助成事業。	・史跡を保存活用するために市町村が行う公有化事業について補助を行った。 ・史跡「下総小金中野牧跡(鎌ヶ谷市)」「内裏塚古墳(富津市)」を対象として実施した。	国指定史跡等公有地化を着実に進めた。	2,574	教育庁	文化財課
57	重要遺跡確認調査		県内に所在する重要遺跡について、遺跡の状況を把握し、保存・活用の資料とするため調査を実施する。併せて、県内で出土した遺物の保存処理を実施する。	県内に所在する重要遺跡について、遺跡の状況を把握し、保存・活用の資料とするため調査を実施した。 ・いすみ市新田野貝塚の確認調査 ・県内重要遺跡詳細分布調査(古墳)	○いすみ市新田野貝塚の発掘調査資料を整理・分析した。 ○古墳の詳細分布調査の成果をまとめた報告書を刊行した。	2,015	教育庁	文化財課
58	埋蔵文化財緊急調査助成		土地区画整理事業・土地改良事業・個人住宅建設等に伴う埋蔵文化財の発掘調査に対し、事業者の調査費用負担の軽減を図るため、調査費用の一部を助成する。	各種開発に伴う埋蔵文化財の発掘調査に対し、事業者の調査費用負担の軽減を図るため、22市町に対して調査費用の一部を助成した。	市原市ほか21市町に対して、発掘費用総額の10%~12.5%を助成した。	10,603	教育庁	文化財課
59	不特定遺跡発掘調査助成		当該年度に計画された個人住宅建設等、事業者が個人若しくは中小企業等で調査費用の負担が困難な場合、事業者の負担軽減を図るため、調査費用の一部を助成する。	当該年度に計画された個人住宅建設等、事業者が個人若しくは中小企業等で調査費用の負担が困難と判断されたものについて、事業者の負担軽減を図るため、7市(11件)に対して調査費用の一部を助成した。	松戸市千駄堀寒風遺跡ほか10件について、発掘調査及び整理作業・報告書の刊行にかかる費用の一部を助成した。	4,998	教育庁	文化財課
60	ふさの国文化財ナビゲーションシステム		国・県指定文化財と周知の埋蔵文化財包蔵地の地理情報及び関連情報をインターネット上で、広く県民に提供しているシステムの整備を行う。	・埋蔵文化財包蔵地の新発見・範囲変更等に伴うデータ更新を年3回行った。 ・管理システムの保守・管理を行った。	埋蔵文化財包蔵地の新発見11件、範囲変更37件、軽微な変更53件のデータ更新を行い、公開した。	649	教育庁	文化財課
61	国際境界模式地(GSSP)関係遺産保存活用等支援事業		市原市田淵所在の養老川河岸の地層は、令和元年に国際地質学連合から「国際境界模式地(GSSP)」に認定、この地層に代表される時代は「チバニアン」と命名され、この周辺地域は「養老川流域田淵の地磁気逆転地層」として国指定天然記念物に指定されている。国際的学会による承認を受けた世界水準の価値を有するこの文化財について、市原市が行う整備事業のうち、自然科学教育への効果が特に期待できる部分を対象に、国庫補助事業への上乗せ補助を行う。	市原市が令和6年度に計画している国庫補助事業に対し、上乗せ補助を実施した。	整備事業(補助対象事業)の工程進捗管理や市原市との協議をふまえ適正に補助・助言を行えている。	17,000	教育庁	文化財課

⑥文化財・文化的景観等の保存と活用

No.	事業名	再掲	事業概要	令和6年度実施結果			担当部署名	
				実施結果	実施結果に対する評価	決算額 (千円)	部局名	課名(局名)
62	県立美術館・博物館事業	再掲	5館8施設の県立美術館・博物館において展示及び教育普及事業を実施する。	各館の特色を生かして、博物館では千葉県の自然・歴史・文化を紹介する展示・体験を、美術館では千葉県ゆかりの作家・作品の展示を行うなど、年間を通じて様々な事業を実施した。 来館者数:677,252人	千葉県の自然・歴史・文化を紹介する展示・体験や、千葉県ゆかりの作家・作品の展示などにより、「あらゆる人が文化に触れ親しむ機会の提供、関心・理解の促進」、「ちばの多様な伝統文化を知る機会の提供」に寄与した。	1,823,220	環境生活部	スポーツ・文化局文化振興課
63	景観セミナー		良好な景観の形成に関する普及啓発及び知識の普及を図るため、県民等を対象として、県内各地でセミナー等を開催する。	回数:5回(景観アドバイザーによる講演会等を実施) 景観アドバイザーによる講演等 開催概要 (1)日 時: R6年5月23日、R6年8月1日、R6年9月11日、R6年10月16日、R6年10月30日 (2)場 所: 船橋市役所、富里市役所、八千代市役所 (3)参加者: 9+42+36=87人 (4)講師: (株)カラープランニングセンター 代表取締役 田邊学 日本大学 教授 阿部貴弘 千葉大学 名誉教授 北原理雄	良好な景観の形成に関する普及啓発及び知識の普及に寄与した。	131	県土整備部	公園緑地課
64	千葉県建築文化賞		安全で快適な建築空間の創出や環境負荷低減などに優れた建築物の普及啓発のため、千葉県建築文化賞を開催し、優良建築物の表彰を行う。ホームページ、ポスター、パンフレット等により作品の募集を行い、その表彰結果を紹介するなど、建築文化や居住環境に対する県民の意識の高揚を図る。	1. 作品募集 募集部門:一般建築物の部、住宅の部、募集期間:7月1日～9月30日 作品応募数:56作品 2. 審査結果 最優秀賞2点、優秀賞2点、入賞5点、計9点を表彰した。 3. 表彰式 令和7年3月17日に中庁舎10階大会議室で、表彰式を実施した。	県の機関や鉄道会社等に募集ポスターや受賞作品紹介パネルの展示を依頼するなど広報活動に力を入れ、より多くの人々が県内のすばらしい建築作品に触れ、文化活動に参加し発表する機会を提供した。	1,252	県土整備部	建築指導課

施策の柱3 新たな文化芸術の価値を創造できる社会づくり

～観光、まちづくり、国際交流、福祉、教育、産業等、他分野との連携により文化芸術が社会の様々な場面で輝く機会を創出する～

⑦様々な関係者による文化芸術のネットワークの構築

No.	事業名	再掲	事業概要	令和6年度実施結果			担当部署名	
				実施結果	実施結果に対する評価	決算額(千円)	部局名	課名(局名)
65	千葉・県民文化祭	再掲	県域芸術文化団体等による絵画や俳句などの公募展や吹奏楽や日本舞踊などの公演を開催し、県民に日頃の文化活動の成果を発表する場と質の高い舞台芸術等を鑑賞する機会を提供する。また、他分野や新たな団体との共同企画による中央行事を開催する。	①千葉・県民文化祭県域文化団体行事 県域で活動する文化芸術団体による絵画や詩、俳句、川柳、写真などの分野を中心とした公募展や合唱、吹奏楽、演劇などの公演等を共催。 事業数：全27件、期間：令和6年7月23日～令和7年2月1日、場所：県立美術館・青葉の森公園芸術文化ホールなど(全県)、関係者：文化芸術団体(全26団体)、来場者(合計)：52,714 ②【千葉・県民文化祭中央行事】 一般公募により舞台出演者を選定し、新たな文化芸術の発表の場を設けた。さらに、アウトリーチとして「ちば文化資産」を舞台としたコンサートを開催し、その様子を後日中央行事で紹介するとともに、Youtube等で配信した。 日程：8月17日(土)、9月1日(日)、9月29日(日)、場所：青葉の森公園芸術文化ホール、関係者：((公財))千葉県文化振興財団・出演者・出品者等(173名)、来場者：一般県民等(1,407名・入場無料)	県民に日頃の文化活動の成果を発表する場と質の高い舞台芸術等を鑑賞する機会を提供と通し、あらゆる人々が文化芸術に親しむことのできる環境づくりに寄与した。 また、他分野や新たな団体との共同企画による事業の実施により、文化芸術活動を行う人々のネットワークの構築を促進することができた。	12,332	環境生活部	スポーツ・文化局文化振興課
66	障害者芸術文化活動普及支援事業	再掲	障害のある人や障害福祉サービス事業所等の芸術文化活動(美術及び舞台芸術)を支援する「障害者芸術文化活動支援センター(支援センター)」を設置し、障害のある人の自立と社会参加の促進を図る。	【支援センター】 ・事業期間：4月1日～3月31日 ・実施事業：障害者による文化芸術活動に関する相談受付(45件) 障害当事者や支援者向けの人材育成研修及びワークショップの実施(実施件数：7回、参加者数：235人(延べ数)) ・展覧会等：1月15日～1月26日(展示作品数：326点) 期間中会場を訪れた人数：2,177人 ・巡回による作品展示：県内公共施設等7箇所、ファミリーマート店舗4箇所	「相談受付」、「人材育成講座の開催」、「ネットワークの構築」、「発表等の機会の創出」、「情報収集・発信」の活動により、障害者による文化芸術活動の振興に寄与した。	9,017	環境生活部	スポーツ・文化局文化振興課
67	ネットワークの構築		文化プログラムの実施を通じて新たに結ばれる団体と施設とのネットワークを、その後の事業展開に活かす。	【千葉県文化芸術推進懇談会】の開催 ・開催回数：4回 ・委員11名(学識経験者、芸術家・芸術団体、文化施設、観光等)	県の文化振興施策や「千葉県文化芸術推進基本計画」の進捗、「第2次千葉県文化芸術推進基本計画」の策定等についてご意見をいただいた。	589	環境生活部	スポーツ・文化局文化振興課
68	千葉県芸術文化団体協議会		昭和45年に設立され、本県の文化芸術に係る県域・市町村団体を総括する唯一の団体。	【芸術文化フォーラム】日程：2月22日、場所：青葉の森公園芸術文化ホール 【文化芸術功労表彰】加盟団体からの推薦により5名を表彰 【芸文教ちば】1回発行(3月)	・芸術文化フォーラム：県内文化団体の発表・相互理解の場となった。 ・文化芸術功労表彰：功労者表彰が行われ、文化の振興に寄与した。	-	環境生活部	スポーツ・文化局文化振興課
69	子どもの読書活動の推進		「千葉県子どもの読書活動推進計画(第四次)」に基づき、乳幼児期からの読書活動を推進し、子どもが自主的に読書に親しむことができる環境の整備を進めていく。主な取組として、読み聞かせや家庭読書のさらなる普及を目指し、リーフレットの作成・配付や「子ども読書の集い」の開催などの啓発活動を行う。また、公立図書館と学校との連携やネットワークの構築を図るために研修会を実施し、家庭・学校・地域での読書活動のより一層の充実・推進を図る。	①子どもの読書活動啓発リーフレットの配付 概要：家庭における子どもの読書活動の意義を啓発するため、発達段階に応じた保護者向けのリーフレットを作成し、配付した。 配付時期：令和6年10月 配付対象：乳幼児の保護者及び小学校1年生の保護者 配付部数：(乳幼児向け)40,000部(小学生向け)48,000部 計88,000部 ②令和6年度「千葉県子ども読書の集い」 概要：子どもの読書活動の意義や重要性について理解を深め、学校や家庭、地域における子どもの読書活動を推進するため、子どもの読書活動に係る講演や実践発表を行った。 日程：令和6年5月11日(土) 場所：イオンモール幕張新都心グランドモール 1階グランドコート 3階イオンモール 主催：千葉県教育委員会 来場者：一般県民等(1,000名・入場無料) ③学校図書館・公立図書館連携研修会 概要：学校図書館の活性化や子どもの読書活動の充実・推進を図るために、公立図書館と学校図書館の効果的な連携に在り方について考える研修会を実施した。 日程：令和7年3月3日(月)～令和7年3月31日(月)オンデマンド配信 対象者：学校図書館関係者、公立図書館関係者、行政職員等(動画視聴回数：159回)	①計画通り、家庭における子どもの読書活動の意義を啓発するため、発達段階に応じた保護者向けのリーフレットを作成し、配付した。今後は、より有効活用されるよう配付方法等を工夫したい。 ②子どもの読書活動の意義や重要性について啓発するとともに、絵本の読み聞かせについて、新たな気づきや情報、視点を得られることができた。 ③研修内容を動画配信したことで、県内の学校図書館・公立図書館関係者に視聴してもらうことができ、学校図書館と公立図書館の効果的な連携の在り方を考えるきっかけづくりができた。	604	教育庁	生涯学習課
70	千葉県無形民俗文化財連絡協議会	再掲	国・県指定の無形民俗文化財保持団体を会員とする団体で、「房総の郷土芸能」、特定ジャンルの民俗芸能上演会の公開事業や会報の発行等の事業を実施。	・「令和6年度房総の郷土芸能」を長生村文化開会で令和7年1月19日に開催した。山武・長生地域の7つの民俗芸能団体が出演、一般県民等520名の来場者(入場無料)があった。 ・富津市の県指定無形民俗文化財「吾妻神社の馬だし祭り」の記録映像作成を行った。 ・「千葉県の無形民俗文化財」20号の会誌を発行した。	普段は地元の祭りで見られない郷土芸能が一同に会し、地元の方だけでなく、多くの人々の前で芸能を披露することで、保存・継承の機運が高まった。	2,052	教育庁	文化財課

⑧観光等の様々な分野と連携した文化資源の活用と地域の活性化

No.	事業名	再掲	事業概要	令和6年度実施結果			担当部署名	
				実施結果	実施結果に対する評価	決算額 (千円)	部局名	課名(局名)
71	千葉県フィルムコミッション運営事業		映画等のロケーション誘致による地域知名度の向上や観光客の誘致、直接的な経済効果を目的に、以下の取組を行う。 (1)映像関係者に対する相談業務及び撮影支援 (2)市町村との連携強化及び市町村FCの設立の促進、ロケーション撮影の受入体制強化 (3)ロケ地を巡る旅であるフィルムツーリズムの促進、ロケ地と近隣の観光スポットを絡めた情報発信等	・映像制作関係者への撮影支援やロケ地情報等の広報活動業務を千葉県フィルムコミッション(※)に委託して実施したところ、86件の撮影が県内で行われた。 ・ホームページに文化施設の情報を掲載し、ロケーション誘致の促進を図った。 ・各市町村との連携やロケツーリズムの推進を図るため、市町村担当者会議を開催したところ、32市町村47名の参加があった。	・86件の撮影が県内で行われ、千葉県の文化芸術を広く周知する機会となった。	28,900	商工労働部	観光政策課
72	観光イベントブック「ちばnote」作成事業		本県の旬の観光・レジャー情報を掲載し、県民等向けに観光情報を広くPRしている。	観光イベントブック「ちばnote」を発行した。 ・回数:6回 ・内容:県内の観光施設・レジャー情報 ・主な対象:県民等 ・配布先:鉄道駅、道の駅、宿泊施設、地方銀行、県立博物館・美術館等	150周年記念イベント、100年後芸術祭といった文化イベントや、「ちば文化資産」を記事に取り入れた。	11,594	商工労働部	観光政策課
73	デュッセルドルフ市奨学生財団の受入れ		デュッセルドルフ日本奨学財団及び独日文化交流育英会から派遣された奨学生の訪問を受入れ、和服体験などを通じて、「ちば文化」を経験してもらう。	デュッセルドルフ日本奨学財団及び独日文化交流育英会から派遣された奨学生等を受け入れた。 日時:令和6年10月21日～22日 人数:7名(奨学生6名、引率兼通訳1名) 内容: ①成田山新勝寺訪問。 ②「県立房総のむら」で和服体験などを実施。	①千葉県の伝統ある名所を訪問し、日本の文化を感じていただくことができた。 ②千葉県の伝統的な生活様式や、和装の直接体験を通じて、千葉県の文化や歴史について学んでいただくことができた。	465	総合企画部	国際課
74	「グリーン・ブルーツーリズムinちば」推進事業		農林水産業に対する都市住民の理解促進や都市と農山漁村の交流を促進し、県及び地域が一体となった農山漁村の活性化を図る。農林水産物直売所及び農林漁業体験施設等のPRや関係者向け研修会を開催しグリーン・ブルーツーリズムを促進する。	①「ちばまるしえキャンペーン」の開催 令和6年9月2日～12月2日の期間、県内農林水産物直売所や収穫体験施設等の177施設が参加した。プレゼント企画の応募総数は1,657通であった。 ②農泊関係者向けのセールスツールの作成 県のグリーン・ブルーツーリズムの認知度向上と県内外の集客力アップを図ることを目的として、県の「農泊・体験コンテンツ等」を紹介するセールスツールを作成した。	農林水産業や農山漁村に対する都市住民の理解促進が図られた。	7,333	農林水産部	農地・農村振興課
75	「千葉の海」丸ごと満喫事業		都市と漁村の交流促進、水産物の消費拡大による漁村の活性化を図るため、観光キャンペーンと連携した水産物直売所のPR等を展開する。	R5から発行休止	—	—	農林水産部	水産局水産課
76	「ちば文化資産」PR事業	再掲	平成30年度に選定した「次世代に残したいと思う『ちば文化資産』」のPRを行い、ちばの文化的魅力を発信する。	①クリアファイル、パンフレット、ポスター等令和5年度に作成した各種PR資材の増刷し、観光・文化施設やイベント等で活用し、周知を図った。 ②観光部局と連携したフォトキャンペーン「あなたのLOVE CHIBA教えてキャンペーン Season13」を実施した。期間:9月1日～12月31日 ③SNSの投稿やHPによる情報発信やフリーペーパーへの広告記事掲載により周知を図った。	「ちば文化資産」に関連したキャンペーン等の実施やSNSの活用等により、千葉の文化的魅力を多くの方に周知できた。	1,686	環境生活部	スポーツ・文化局文化振興課
77	ちばアクアラインマラソン開催事業	再掲	スポーツを通じ千葉が有する様々な魅力を発信するために東京湾アクアラインを活用した事業でランナーへのおもてなし等に文化芸術を活用する。	6年ぶりにフルスペックで開催された「ちばアクアラインマラソン2024」では、27万人の沿道応援のもと、約1万7千人のランナーが参加し、各種取組により、スポーツの振興を図るとともに、千葉の魅力を県内外に発信し、地域の活性化を図れた。	コース沿道では、吹奏楽や和太鼓、ダンスなどの応援パフォーマンスで大会を盛り上げるとともに、観戦者にはスポーツと文化芸術に触れる機会を創出した。	99,585	環境生活部	スポーツ・文化局生涯スポーツ振興課
78	日本遺産魅力発信推進事業		日本遺産に認定されたストーリーを地域全体として一体的に整備・活用し、国内外へ効果的に発信する文化庁の補助事業。平成28年度、本県で認定された日本遺産「北総四都市江戸紀行・江戸を感じる北総の町並み」について、情報発信や人材育成などの事業を行う。	・観光客誘致事業の推進 ・教育旅行誘致に向けた取組みとして、成田市で「教員研修」を実施した。 ・駅などへのポスター掲示、HPやSNS等(instagram・Facebook・協議会観光アプリ)での情報発信 ・関係団体との連携事業	観光誘客事業や関係団体との連携強化が進んでいる。	100	教育庁	文化財課
79	ネットワークの構築	再掲	文化プログラムの実施を通じて新たに結ばれる団体と施設とのネットワークを、その後の事業展開に活かす。	【千葉県文化芸術推進懇談会】の開催 ・開催回数:4回 ・委員11名(学識経験者、芸術家・芸術団体、文化施設、観光等)	県の文化振興施策や「千葉県文化芸術推進基本計画」の進捗、「第2次千葉県文化芸術推進基本計画」の策定等についてご意見をいただいた。	589	環境生活部	スポーツ・文化局文化振興課

⑧観光等の様々な分野と連携した文化資源の活用と地域の活性化

No.	事業名	再掲	事業概要	令和6年度実施結果			担当部署名	
				実施結果	実施結果に対する評価	決算額 (千円)	部局名	課名(局名)
80	ちば文化交流ボックス	再掲	県ホームページに「ちば文化交流ボックス」を設け、ちばの文化情報を紹介するとともに、県主催事業の他、県内各地で行われる文化イベントや県内の文化資源などの情報を提供する。	「文化交流ボックス」内に地域の文化イベント情報などを随時ホームページに掲載した。 累計閲覧者数:2,139,066人	県主催事業やちばの文化関連の情報を提供し、文化振興に寄与した。	-	環境生活部	スポーツ・文化局文化振興課
81	県立文化会館自主事業、管理運営事業	再掲	県立文化会館4館それぞれが館の特徴を生かした事業を実施し、入場者数の増加を図る。また文化会館を適正に管理運営する。	・管理・運営方法:公益財団法人千葉県文化振興財団による指定管理 ・会館利用者数(4館合計):266,812名 ・利用事業数(4館合計):2,460件 ・各館の特色を生かし、鑑賞事業、県民参加事業、新進芸術家等の育成事業など、様々な文化事業を実施した。	県民の自主的な文化芸術活動の促進や、文化芸術に触れ親しむ機会の提供に寄与した。	567,712	環境生活部	スポーツ・文化局文化振興課
82	県立美術館・博物館事業	再掲	5館8施設の県立美術館・博物館において展示及び教育普及事業を実施する。	各館の特色を生かして、博物館では千葉県の自然・歴史・文化を紹介する展示・体験を、美術館では千葉県ゆかりの作家・作品の展示を行うなど、年間を通じて様々な事業を実施した。 来館者数:677,252人	千葉県の自然・歴史・文化を紹介する展示・体験や、千葉県ゆかりの作家・作品の展示などにより、「あらゆる人が文化に触れ親しむ機会の提供、関心・理解の促進」、「ちばの多様な伝統文化を知る機会の提供」に寄与した。	1,823,220	環境生活部	スポーツ・文化局文化振興課
83	千葉県フィルムコミッション運営事業	再掲	映画等のロケーション誘致による地域知名度の向上や観光客の誘致、直接的な経済効果を目的に、以下の取組を行う。 (1)映像関係者に対する相談業務及び撮影支援 (2)市町村との連携強化及び市町村FCの設立の促進、ロケーション撮影の受入体制強化 (3)ロケ地を巡る旅であるフィルムツーリズムの促進、ロケ地と近隣の観光スポットを絡めた情報発信等	・映像制作関係者への撮影支援やロケ地情報等の広報活動業務を千葉県フィルムコミッション(※)に委託して実施したところ、86件の撮影が県内で行われた。 ・ホームページに文化施設の情報を掲載し、ロケーション誘致の促進を図った。 ・各市町村との連携やロケツーリズムの推進を図るため、市町村担当者会議を開催したところ、32市町村47名の参加があった。	・86件の撮影が県内で行われ、千葉県の文化芸術を広く周知する機会となった。	28,900	商工労働部	観光政策課

⑨文化施設等(文化会館、美術館・博物館等)の多面的な活用

No.	事業名	再掲	事業概要	令和6年度実施結果			担当部署名	
				実施結果	実施結果に対する評価	決算額 (千円)	部局名	課名(局名)
84	県立学校開放講座		県立学校が保有する優れた教育機能を地域に開放し、多様化、高度化及び専門化する県民の学習要求に応え、生涯学習の振興に資するとともに開かれた学校づくりを促進する。	・開講数:8校11講座 ・内容:書道、園芸、スポーツ等	昨年に比べて実施校数・講座数は減少した。	170	教育庁	生涯学習課

施策の柱4 次代を担う子どもや若者がちばの文化芸術に触れる機会づくり

～新たな文化芸術の担い手となる子ども・若者が文化芸術に触れる機会を創出する～

⑩豊かな感性を育む文化芸術、郷土の歴史・伝統に出会う機会の充実

No.	事業名	再掲	事業概要	令和6年度実施結果			担当部署名	
				実施結果	実施結果に対する評価	決算額 (千円)	部局名	課名(局名)
85	水道週間ポスター・標語コンクール		千葉県企業局では、県民の皆様の水道へのご理解をより深めていただくために、「水の大切さ」などを呼びかける「ポスター」及び「標語」作品を募集・審査するとともに、受賞者の表彰や入賞作品展の開催などを行っている。	<ul style="list-style-type: none"> ■表彰式の実施 最優秀、優秀賞受賞者を対象とした表彰式を6月3日に開催(受賞者のうち16名参加) ■入賞作品展の開催 会場:県庁本庁舎1階連絡通路・そごう千葉店・県立美術館第6展示室 期間:1週間程度(各会場) 来場者数:396名(県立美術館*) ※他会場は計測していないため不明 ■作品集の作成 作品集を1,200部作成し、受賞者並びに県内の学校、絵画教室等に配付した。 ■コンクールの作品募集(テーマ:「水道」「水資源」「水の大切さ」) 応募総数:ポスター部門347点、標語部門615点 入賞:部門ごとに最優秀・優秀賞各5点、ポスター佳作47点、標語佳作48点を選出 	学校や公民館等に作品募集のお知らせを送付し、また、県内施設にて入賞作品を展示することで、ポスターや標語の制作・鑑賞を通じて文化芸術に親しむ機会を提供した。	1,022	企業局	管理部業務振興課
86	水産物消費・食育対策事業	再掲	おさかな普及員の派遣、食育実習の情報提供及び魚食普及パンフレットの作成・配布を行い、魚食普及を通じて「食育」を推進する。	<ul style="list-style-type: none"> ①要望のあった県内の小中高等学校等の調理実習に、講師としておさかな普及員を派遣した。(派遣回数:10回) ②小中高等学校等の調理実習に対して県産水産物を提供した。 ③魚食普及パンフレットを配布した。 	<ul style="list-style-type: none"> ①アジやマイワシを食材として用いて、千葉県の郷土料理である「なめろう」や「さんが焼き」の伝承に努めた。 ②小中高等学校等の調理実習に対して県産水産物を提供し、県産水産物の利用促進を図った。 ③水産業や地域の特色ある魚に関する県民の理解を深めるため、魚食普及パンフレットを配布した。 	946	農林水産部	水産局水産課
87	子どもの読書活動の推進	再掲	「千葉県子どもの読書活動推進計画(第四次)」に基づき、乳幼児期からの読書活動を推進し、子どもが自主的に読書に親しむことができる環境の整備を進めていく。主な取組として、読み聞かせや家庭読書のさらなる普及を目指し、リーフレットの作成・配付や「子ども読書の集い」の開催などの啓発活動を行う。また、公立図書館と学校との連携やネットワークの構築を図るために研修会を実施し、家庭・学校・地域での読書活動のより一層の充実・推進を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ①子どもの読書活動啓発リーフレットの配付 概要:家庭における子どもの読書活動の意義を啓発するため、発達段階に応じた保護者向けのリーフレットを作成し、配付した。 配付時期:令和6年10月 配付対象:乳幼児の保護者及び小学校1年生の保護者 配付部数:(乳幼児向け)40,000部(小学生向け)48,000部 計88,000部 ②令和6年度「千葉県子ども読書の集い」 概要:子どもの読書活動の意義や重要性について理解を深め、学校や家庭、地域における子どもの読書活動を推進するため、子どもの読書活動に係る講演や実践発表を行った。 日程:令和6年5月11日(土) 場所:イオンモール幕張新都心グランドモール 1階グランドコート 3階イオンモール 主催:千葉県教育委員会 来場者:一般県民等(1,000名・入場無料) ③学校図書館・公立図書館連携研修会 概要:学校図書館の活性化や子どもの読書活動の充実・推進を図るために、公立図書館と学校図書館の効果的な連携に在り方について考える研修会を実施した。 日程:令和7年3月3日(月)～令和7年3月31日(月)オンデマンド配信 対象者:学校図書館関係者、公立図書館関係者、行政職員等(動画視聴回数:159回) 	<ul style="list-style-type: none"> ①計画通り、家庭における子どもの読書活動の意義を啓発するため、発達段階に応じた保護者向けのリーフレットを作成し、配付した。今後は、より有効活用されるよう配付方法を工夫したい。 ②子どもの読書活動の意義や重要性について啓発するとともに、絵本の読み聞かせについて、新たな気づきや情報、視点を得られることができた。 ③研修内容を動画配信したことで、県内の学校図書館・公立図書館関係者に視聴してもらうことができ、学校図書館と公立図書館の効果的な連携の在り方を考えるきっかけづくりができた。 	604	教育庁	生涯学習課
88	ふさの国文化財ナビゲーションシステム	再掲	国・県指定文化財と周知の埋蔵文化財包蔵地の地理情報及び関連情報をインターネット上で、広く県民に提供しているシステムの整備を行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・埋蔵文化財包蔵地の新発見・範囲変更等に伴うデータ更新を年3回行った。 ・管理システムの保守・管理を行った。 	埋蔵文化財包蔵地の新発見11件、範囲変更37件、軽微な変更53件のデータ更新を行い、公開した。	649	教育庁	文化財課
89	県警音楽隊派遣	再掲	要請により、小・中学校、その他各種イベント会場に音楽隊を派遣し、演奏を通じた警察広報を行う。	派遣日数114日、式典、カラーガード隊のドリル演技など合計221回の演奏を行った。(令和6年1月～令和6年12月)	警察広報を通じ幅広い層の県民が文化芸術に親しむ機会を提供できた。	0	警察本部	
90	学校音楽鑑賞教室		次代の文化を担う児童・生徒を対象として、質の高い演奏に触れる機会を提供するため、千葉交響楽団による巡回公演を実施する。	<ul style="list-style-type: none"> ・時期:通年 ・公演数:41公演 ・巡回先:県立高等学校3校、県内公立小・中学校38校 	次代の文化を担う児童・生徒に質の高い演奏に触れる機会を提供した。	13,480	環境生活部	スポーツ・文化局文化振興課

⑩豊かな感性を育む文化芸術、郷土の歴史・伝統に出会う機会の充実

No.	事業名	再掲	事業概要	令和6年度実施結果			担当部署名	
				実施結果	実施結果に対する評価	決算額(千円)	部局名	課名(局名)
91	伝統芸能・洋楽～ふれあい体験事業	再掲	小・中学生を対象に、邦楽・洋楽のプロの演奏者を派遣して、鑑賞及び楽器体験を行う。	・内容:洋楽、伝統芸能(能楽・雅楽・三曲) ・時期:通年 ・派遣先:県内小中学校27校 (洋楽:5校/伝統芸能(能楽8校・雅楽8校・三曲6校):22校)	県内の小・中学校の児童・生徒を対象に、伝統芸能・洋楽の演奏者等を派遣し、伝統芸能の一層の普及・振興、後継者の育成、及び小・中学生の演奏力のレベルアップ等に寄与した。	4,075	環境生活部	スポーツ・文化局文化振興課
92	県立美術館・博物館事業	再掲	5館8施設の県立美術館・博物館において展示及び教育普及事業を実施する。	各館の特色を生かして、博物館では千葉県自然・歴史・文化を紹介する展示・体験を、美術館では千葉県ゆかりの作家・作品の展示を行うなど、年間を通じて様々な事業を実施した。 来館者数:677,252人	千葉県の自然・歴史・文化を紹介する展示・体験や、千葉県ゆかりの作家・作品の展示などにより、「あらゆる人が文化に触れ親しむ機会の提供、関心・理解の促進」、「ちばの多様な伝統文化を知る機会の提供」に寄与した。	1,823,220	環境生活部	スポーツ・文化局文化振興課
93	県有文化財管理活用事業		郷土の文化財に対する理解を深めるとともに、文化・観光資源としての文化財の公開活用を促進するため、市町村や関係機関等との連携により、千葉県指定有形文化財「千葉県立安房南高等学校旧第一校舎」の管理・公開事業を実施する。	消防設備等の老朽化により一般公開を中止している。	消防設備等の整備を含めた施設活用の検討が必要である。	0	教育庁	文化財課

⑪若者の文化芸術活動の支援

No.	事業名	再掲	事業概要	令和6年度実施結果			担当部署名	
				実施結果	実施結果に対する評価	決算額(千円)	部局名	課名(局名)
94	<R6新規事業>軽音楽振興事業		全国高等学校軽音楽コンテスト決勝千葉県大会又は、千葉県高等学校軽音楽新人コンテストを県立文化会館で開催することにより、若い世代にも音の響きの良いホールを体験してもらうとともに、軽音楽の普及振興を図る。	①第11回全国高等学校軽音楽コンテスト千葉県大会 8月1日に八千代市民会館にて「第11回全国高等学校軽音楽コンテスト千葉県大会」決勝を実施した。(24バンド参加) ②第13回千葉県高等学校軽音楽コンテスト 12月27日に青葉の森公園芸術文化ホールにて「第13回千葉県高等学校軽音楽コンテスト」決勝を実施した。(24バンド参加)	若い世代にも音の響きの良いホールを体験してもらうとともに、軽音楽の普及振興を図った。	1,000	環境生活部	スポーツ・文化局文化振興課
95	千葉県少年少女オーケストラ育成事業		(公財)千葉県文化振興財団の行う少年少女オーケストラ育成事業に対し補助することにより、次代を担う少年少女の音楽文化の向上とオーケストラ活動の普及を図る。	・指導者を招聘し、定期的に練習を行った。 ・3月には、青葉の森公園芸術文化ホールで定期演奏会リハーサル、千葉市民会館で定期演奏会を実施し、また、サントリーホールで東京公演を行った。 ・定期演奏会の様子をテレビ及びラジオで放送した。	次代を担う少年少女の音楽文化の向上とオーケストラ活動の普及を図った。	40,934	環境生活部	スポーツ・文化局文化振興課
96	アーティスト・フォローアップ(モデル)事業		既存の枠にとらわれない、多様で優れた文化芸術活動を行う才能豊かな新進アーティストなど、将来の芸術家の芽を育む取組を推進し、そのキャリア形成を支援する。	①第1期 4分野8名の支援対象アーティストに対し、令和6年4月から令和7年2月にかけて資金支援及び相談支援等を行った。また、アーティストの成果発表として令和7年3月に千葉県立美術館において成果展を開催した。 ②第2期 応募のあった65件の中から、計5件のアーティストを選定した。	先見性や斬新な発想を持ち、優れた文化芸術活動を行う才能豊かな若手アーティストのキャリア形成を支援する体制を整えることができた。	25,980	環境生活部	スポーツ・文化局文化振興課
97	高等学校文化連盟補助		国や県の教育施策等に基づき、高校生の文化活動の向上・発展及び普及振興を図るため、千葉県高等学校文化連盟に補助金を交付する。	以下の事業が補助金の対象である。 ①千葉県高等学校総合文化祭開催事業(参加30,307人) 演劇、合唱、吹奏楽、放送、写真、美術・工芸、将棋等 ②全国高等学校総合文化祭派遣事業(507人) ③全国大会・関東大会派遣事業(163人) ④講習会・研修会開催事業(1,702人) ⑤専門部会・理事会開催事業(500人)	千葉県高等学校総合文化祭の開催及び全国高等学校総合文化祭への派遣等の補助を実施し、生徒が文化芸術に触れる機会を創出した。	4,669	教育庁	学習指導課
98	文化芸術のミライ応援補助金	再掲	将来を担う若者による文化芸術活動の推進を図るため、若者が主体となって参加して実施する事業に対し助成する。	「文化芸術のミライ応援補助金」申請内容を審査し、補助金を交付した。 ・補助対象事業の実施期間:6月1日～2月28日 ・補助対象:39歳以下の者が主体となって参加して実施する発表・公開事業、参加体験事業 ・補助対象経費:2/3以内(上限20万円) ・補助金交付者数(個人・団体):【申請数】4者4事業/【交付数】4者4事業	4者4事業が実施され、県民に様々な分野の文化芸術に触れる機会を提供し、また、文化芸術の発表の機会を設けることにより、文化振興に寄与した。	800	環境生活部	スポーツ・文化局文化振興課

⑫伝統文化を担う子ども・若者の育成

No.	事業名	再掲	事業概要	令和6年度実施結果			担当部署名	
				実施結果	実施結果に対する評価	決算額(千円)	部局名	課名(局名)
99	伝統芸能・洋楽～ふれあい体験事業	再掲	小・中学生を対象に、邦楽・洋楽のプロの演奏者を派遣して、鑑賞及び楽器体験を行う。	<ul style="list-style-type: none"> 内容:洋楽、伝統芸能(能楽・雅楽・三曲) 時期:通年 派遣先:県内小中学校27校(洋楽:5校/伝統芸能(能楽8校・雅楽8校・三曲6校):22校) 	県内の小・中学校の児童・生徒を対象に、伝統芸能・洋楽の演奏者等を派遣し、伝統芸能の一層の普及・振興、後継者の育成、及び小・中学生の演奏力のレベルアップ等に寄与した。	4,075	環境生活部	スポーツ・文化局文化振興課
100	千葉県青少年オーケストラ育成事業	再掲	(公財)千葉県文化振興財団の行う青少年オーケストラ育成事業に対し補助することにより、次代を担う青少年の音楽文化の向上とオーケストラ活動の普及を図る。	<ul style="list-style-type: none"> 指導者を招聘し、定期的に練習を行った。 3月には、青葉の森公園芸術文化ホールで定期演奏会リハーサル、千葉市民会館で定期演奏会を実施し、また、サントリーホールで東京公演を行った。 定期演奏会の様子をテレビ及びラジオで放送した。 	次代を担う青少年の音楽文化の向上とオーケストラ活動の普及を図った。	40,934	環境生活部	スポーツ・文化局文化振興課

施策の柱5 ちばの強みを生かした文化芸術の創造・発信

～ちばの強みを生かした「ちば文化」のブランド化と、近年、文化芸術の新たな表現手段や発信・保存方法として発達してきたテクノロジーの導入や、伝統文化及び地域固有の文化と国内外とのコラボレーションなどにより、新たな「ちば文化」の創造を進める～

⑬「ちば」文化のブランド化による認知度向上と県民の誇りの醸成

No.	事業名	再掲	事業概要	令和6年度実施結果			担当部署名	
				実施結果	実施結果に対する評価	決算額(千円)	部局名	課名(局名)
101	千葉の海の魅力発信事業		千葉の海についてブランディングをより効果的に進めるため、部局横断的な取組を実施する。また、「千葉の海ブランドデザイン」と「千葉の海・大使 さかなクン」を活用し、部局横断的な取組に更なる統一感と発信力を強化し、県内外に本県の海の魅力を強く印象付ける。	<ul style="list-style-type: none"> 千葉の海ブランドデザインについて、広報物資を制作したほか、イベントでのブース出展や企業・団体への呼びかけ等によりデザインの周知を行った。 千葉の海ブランドデザインや本県の海の魅力をPRする「千葉の海魅力発信イベント」を県内外で計3回実施し、千葉の海・大使を活用したトークショーや広報物資の配布等を行った。 	千葉の海ブランドデザイン及び千葉の海・大使を活用することにより、千葉の海の魅力を効果的かつ統一的に発信できた。	17,949	環境生活部	スポーツ・文化局文化振興課
102	千葉の海と水辺の魅力発信事業		在京メディア等を活用したPRを展開するとともに首都圏をターゲットとした誌面広告などにより、海や水辺の魅力について、発信をしていく。	<ul style="list-style-type: none"> 東京メトロで配布するフリーマガジンで、海辺・水辺の地域の魅力を紹介する記事広告を掲載するとともに、誌面でとり上げたモノやコトを体験するモニターツアーを開催 誌面掲載:3回(7月20日発行号、9月20日発行号、11月20日発行号) モニターツアー:2回(11月23日、11月30日)鋸山周辺エリア メディアリレーション事業において、本県の露出機会を増加させるため、在京メディア等に向けてプレスリリース等で情報発信 プレスリリース等:14件 テレビ露出:47件 	在京メディア等を活用したPR及び誌面広告などにより、県内各地域の認知度を高めるとともに、多くの方が本県の歴史・文化に係る情報に触れる機会を創出できた。	48,433	総合企画部	地域づくり課
103	GOGO房総デジタルポイントラリーキャンペーン事業		スマートフォン等を使って「千葉ならではの魅力」に触れられる観光スポットや特集テーマを巡り、一定以上のポイントを集めて応募すると抽選でプレゼントが当たるデジタルポイントラリーを実施する。	<ul style="list-style-type: none"> 【ポイントラリー実施概要】 実施期間:令和6年9月28日～令和7年2月28日 主な対象:県民及び県外からの観光客 広報物:キャンペーンポスター、チラシ、のぼり、三角POP、SNS広告 配布先:鉄道駅、道の駅、スポットとなっている観光施設 参加者数:7,631人 抽選応募者数:A賞 896人、B賞 1,498人千葉県お菓子セット 1,250人 	令和5年度に引き続き、県内各地で開催されていた150周年記念イベントや「ちば文化資産」を対象スポットとして設定した上、グルメスポットも設定することで、更にポイントラリー参加者が文化芸術に触れる機会を創出した。	21,930	商工労働部	観光政策課

⑬「ちば」文化のブランド化による認知度向上と県民の誇りの醸成

No.	事業名	再掲	事業概要	令和6年度実施結果			担当部署名	
				実施結果	実施結果に対する評価	決算額 (千円)	部局名	課名(局名)
104	新しい千葉の食文化創生事業		首都圏近郊にある豊かな自然(海と大地)をテーマに、県内各地域の特産品を取り入れた新しい千葉の食文化を目指した料理を消費者へ提供することで地産地消を推進し、農林水産業の振興を図る。	(1)黒アヒージョ体験イベントの開催 県内の道の駅や交流施設、バーベキュー施設、キャンプ場等で黒アヒージョの試食や調理を楽しんでいただくイベント「黒アヒージョ体験会」を計8回実施 (2)料理コンテストの開催 下記(3)のフェア参加施設(県内飲食店・宿泊施設)を対象とした料理コンテストを開催。応募料理の中からグランプリ1作品、準グランプリ2作品、特別賞2作品、計5作品を決定(応募作品数:40作品) (3)黒アヒージョフェアの開催 「黒アヒージョ」を提供する県内の飲食店や宿泊施設で、黒アヒージョを含む料理や商品を1,000円以上注文または購入された方へのアニメコラボシールのプレゼントや、アンケートに回答すると抽選で200名様に、「しばんぼん×黒アヒージョコラボエコバッグ」をプレゼントするキャンペーンを実施。(参加店舗数:74店舗) (4)各種情報発信 ・SNS発信 Instagramフォロワー数:10,394人(R7.3時点)、Xフォロワー数:1,464人(R7.5時点) ・SNS広告 インプレッション数:約297万 ・インフルエンサータイアップ インプレッション数:約75.6万 ・WEBメディア「macaroni」での記事配信 閲覧数2万 ・各種TV番組、紙面での取りあげ (6)その他 上記の他、企業・団体と連携し、量販店やイベントでの試食の配布のほか、社員食堂等でのオリジナルメニューの提供、「黒アヒージョ」の惣菜開発・販売などを実施した。	フェア等において行った世代別の認知度調査では、若年層だけでなく40代以上の認知度も高い結果となったほか、これまで訴求してこなかった「黒アヒージョ×酒類」という切り口でPRすることにより、広い層に訴求できた。 また、フェアの参加施設数については、過去最高の施設数となり、コラボシール目当てで店舗を巡る方も多くいた。	28,121	農林水産部	販売輸出戦略課
105	「千葉の海」丸ごと満喫事業		都市と漁村の交流促進、水産物の消費拡大による漁村の活性化を図るため、観光キャンペーンと連携した水産物直売所のPR等を展開する。	R5から発行休止	—	—	農林水産部	水産局水産課
106	青少年水産教室漁業士派遣事業		青少年に本県水産業への理解と親しみを深めてもらうとともに、将来における漁業就業の一助とするため、中学校又は高等学校等が開催する青少年水産教室の開催支援として、県内各地で漁業者のリーダーとして活躍している漁業士を講師として派遣する。	水産教室への漁業士派遣 延べ19名	本県水産業への理解を深めてもらうため、漁業士が講師となり、水産業に関する講話や漁業体験を実施した。	95	農林水産部	水産局水産課
107	農山漁村振興交付金事業		農山漁村活性化法に基づき市町村が策定する定住・交流の促進、漁業者の所得向上や雇用の増大を図るための活性化計画の実現に向けて、漁業協同組合等が実施する地域活性化のための施設整備に対し支援する	実績なし	—	—	農林水産部	水産局水産課
108	「ゆめみるチーバくん」ダンス関連事業	再掲	千葉県マスコットキャラクター「チーバくん」と共に「千葉アイデンティティ」の醸成と魅力発信を目指すため、また、県民に広く芸術(舞踏)に親しむ機会を創出するため、チーバくんキャラバン隊が「ゆめみるチーバくんだンス」をイベントや県内の学校等を訪問して普及する。	ダンスキャラバン隊の活用について、年度当初に学校向けにリーフレットを配付し、希望のあった50校に対し「ゆめみるチーバくん」のダンスレクチャーを行った。また、県主催のイベントをはじめ、ショッピングモール等でもダンスステージを展開するなどし、ダンスを通して「千葉アイデンティティ」の醸成と魅力発信を行った。	チーバくんだンスを通して、県民を中心に広く千葉県の魅力発信をすることができた。	24,770	総合企画部	報道広報課
109	ちば文化交流ボックス	再掲	県ホームページに「ちば文化交流ボックス」を設け、ちばの文化情報を紹介するとともに、県主催事業の他、県内各地で行われる文化イベントや県内の文化資源などの情報を提供する。	「文化交流ボックス」内に地域の文化イベント情報などを随時ホームページに掲載した。 累計閲覧者数:2,139,066人	県主催事業やちばの文化関連の情報を提供し、文化振興に寄与した。	—	環境生活部	スポーツ・文化局文化振興課
110	県立文化会館自主事業、管理運営事業	再掲	県立文化会館4館それぞれが館の特徴を生かした事業を実施し、入場者数の増加を図る。また文化会館を適正に管理運営する。	・管理・運営方法:公益財団法人千葉県文化振興財団による指定管理 ・会館利用者数(4館合計):266,812名 ・利用事業数(4館合計):2,460件 ・各館の特色を生かし、鑑賞事業、県民参加事業、新進芸術家等の育成事業など、様々な文化事業を実施した。	県民の自主的な文化芸術活動の促進や、文化芸術に触れ親しむ機会の提供に寄与した。	567,712	環境生活部	スポーツ・文化局文化振興課

⑬「ちば」文化のブランド化による認知度向上と県民の誇りの醸成

No.	事業名	再掲	事業概要	令和6年度実施結果			担当部署名	
				実施結果	実施結果に対する評価	決算額 (千円)	部局名	課名(局名)
111	県民の日事業		県民が千葉の魅力を再発見し、郷土愛を育み、千葉アイデンティティを醸成する機会とするため、「県民の日」を記念する行事を県内各地で実施する。また、県民の日中央行事として、幅広い世代の県民が楽しめる参加・体験型のイベントを実施する。	①6月から1年にわたり県内各地で展開した千葉県誕生150周年記念行事のフィナーレイベントとして、県民の日中央行事を実施した。 ・九十九里浜ビーチクリーン&手つなぎ~チーパくんのせなかピカピカ大作戦~ 日時:6月15日午前、会場:九十九里浜・九十九里有料道路 ・勝浦漁船パレード 日時:6月15日午後、会場:勝浦湾・三日月シーパークホテル勝浦第2駐車場 ・グランドフィナーレ 日時:6月16日、会場:勝浦市芸術文化交流センター ②地域行事:11件 ③千葉県誕生150周年記念事業パートナー登録企業数:計385者	①記念事業の集大成となるフィナーレイベントとして、2日間にわたって九十九里浜及び勝浦市で実施することで、海の魅力発信・ブランド化につなげることができた。また、前年度を大きく上回る来場者を集めることができた。 ②地域行事については、千葉県誕生150周年を契機として、複数地域の合同によるイベントが行われたほか、より地域の魅力を発信できるような新しい企画が考案された。	79,114	環境生活部	スポーツ・文化局文化振興課
112	千葉県誕生150周年記念事業		令和5年6月に千葉県誕生150周年の節目を迎えることから、本県ならではの多様な文化資源や魅力を発信するとともに、千葉のブランド価値の創出・向上や地域活性化につなげるため、市町村等に対する補助金等により、県全域で記念事業を展開する。	・県内全域で、県誕生150周年を記念した取り組みを統一的に推進し、広域での連携による記念事業や、県内大型商業施設等による新たな企業連携、本県の豊かな自然環境、東京との隣接性を生かした新たな芸術祭である「百年後芸術祭」等、さまざまな新しい取り組みが実施された。 ○百年後芸術祭 本県の豊かな自然環境や東京との隣接性を活かし、アートや映像、音楽などに、SDGsの視点やテクノロジーを取り入れた、本県ならではの新しい芸術祭。100年後の未来を見据え、持続可能な社会づくりのプラットフォームとなる芸術祭を目指し、国内外から参加したアーティストやクリエイターによる多様な芸術作品が展示されるほか、ライブアートパフォーマンスや食をテーマとした体験など、体験型プログラムを実施した。 開催地域:内房総地域(木更津市、市原市、君津市、富津市、袖ヶ浦市)、市川市、佐倉市、山武市、栄町、白子町 ・県誕生150周年を県全体で盛り上げ、県民の郷土への愛着を一層高めるとともに、県内外から人を呼び込み、地域活性化につなげていくため、県内市町村が企画・実施する記念イベントに対し、補助金を交付した。 実施市町村:県内54市町村(全市町村) 件数:計92件 ・記念事業には計約230万人が参加し、効果を検証するために算出した経済波及効果は、県・市町村で実施した記念事業全体で約171億円となった。	県内各地で千葉県誕生150周年を記念した事業が実施されたことで、本県ならではの多様な文化資源や魅力を発信するとともに、千葉のブランド価値の創出・向上や地域活性化に寄与することができた。	245,579	環境生活部	スポーツ・文化局文化振興課
113	国民文化祭周知・派遣		毎年、各県持ち回りで開催される国民文化祭について、県内に周知するとともに、県内団体の派遣に伴う事務を行う。	岐阜県で開催。 「清流の国ぎふ文化祭2024、第39回国民文化祭、第24回全国障害者芸術・文化祭」 (令和6年10月14日~11月24日)	-	-	環境生活部	スポーツ・文化局文化振興課
114	<R6新規事業> 「ちば文化」創造・継承事業		・県内市町村の企画・実施する千葉ならではの豊かな自然環境等を取り入れた芸術祭等の新たな文化活動に対し、補助金を交付する。 ・民間企業・団体が「ちば文化資産」を活用し、新たな要素を取り入れた本県の文化的魅力のPRにつながる事業に対し、補助金を交付する。	①県内市町村の企画・実施する、千葉ならではの豊かな自然環境・都市機能を取り入れた新たな文化活動に対し、補助金を交付した。 件数:2件 ②民間企業・団体が「ちば文化資産」を活用し、新たな要素を取り入れた本県の文化的魅力のPRにつながる事業に対し、補助金を交付した。 件数:3件	市町村や民間企業等の実施するイベントの経費の補助により、本県の文化の向上、地域の魅力発信及び地域活性化に寄与することができた。	3,535	環境生活部	スポーツ・文化局文化振興課
115	県立美術館・博物館事業	再掲	5館8施設の県立美術館・博物館において展示及び教育普及事業を実施する。	各館の特色を生かして、博物館では千葉県の自然・歴史・文化を紹介する展示・体験を、美術館では千葉県ゆかりの作家・作品の展示を行うなど、年間を通じて様々な事業を実施した。 来館者数:677,252人	千葉県の自然・歴史・文化を紹介する展示・体験や、千葉県ゆかりの作家・作品の展示などにより、「あらゆる人が文化に触れ親しむ機会の提供、関心・理解の促進」、「ちばの多様な伝統文化を知る機会の提供」に寄与した。	1,823,220	環境生活部	スポーツ・文化局文化振興課
116	ふさの国文化財ナビゲーションシステム	再掲	国・県指定文化財と周知の埋蔵文化財包蔵地の地理情報及び関連情報をインターネット上で、広く県民に提供しているシステムの整備を行う。	・埋蔵文化財包蔵地の新発見・範囲変更等に伴うデータ更新を年3回行った。 ・管理システムの保守・管理を行った。	埋蔵文化財包蔵地の新発見11件、範囲変更37件、軽微な変更53件のデータ更新を行い、公開した。	649	教育庁	文化財課

⑬「ちば」文化のブランド化による認知度向上と県民の誇りの醸成

No.	事業名	再掲	事業概要	令和6年度実施結果			担当部署名	
				実施結果	実施結果に対する評価	決算額 (千円)	部局名	課名(局名)
117	「ちば文化資産」PR事業	再掲	平成30年度に選定した「次世代に残したいと思う『ちば文化資産』」のPRを行い、ちばの文化的魅力を発信する。	①クリアファイル、パンフレット、ポスター等令和5年度に作成した各種PR資材の増刷し、観光・文化施設やイベント等で活用し、周知を図った。 ②観光部局と連携したフォトキャンペーン「あなたのLOVE CHIBA教えてキャンペーン Season13」を実施した。期間:9月1日～12月31日 ③SNSの投稿やHPによる情報発信やフリーペーパーへの広告記事掲載により周知を図った。	「ちば文化資産」に関連したキャンペーン等の実施やSNSの活用等により、千葉の文化的魅力を多くの方に周知できた。	1,686	環境生活部	スポーツ・文化局文化振興課
118	日本遺産魅力発信推進事業	再掲	日本遺産に認定されたストーリーを地域全体として一体的に整備・活用し、国内外へ効果的に発信する文化庁の補助事業。平成28年度、本県で認定された日本遺産「北総四都市江戸紀行・江戸を感じる北総の町並み」について、情報発信や人材育成などの事業を行う。	・観光客誘致事業の推進 ・教育旅行誘致に向けた取組みとして、成田市で「教員研修」を実施した。 ・駅などへのポスター掲示、HPやSNS等(instagram・Facebook・協議会観光アプリ)での情報発信 ・関係団体との連携事業	観光誘客事業や関係団体との連携強化が進んでいる。	100	教育庁	文化財課
119	出土文化財管理活用事業	再掲	発掘調査で出土した実物資料等を用い、出張展示・出前授業・体験学習指導等を実施するとともに出土品を利用した学習キットを作成し、特別支援学校への配付と配付済のキットをメンテナンスする事業。	出土文化財を活用した出前授業・体験学習等を実施した。(90件:小学校40件/特別支援学校1件/公民館等20件/博物館8件/キッズルーム等7件/イベント5件/研修等6件/貸出3件) 作成した学習キットを必要な特別支援学校に配付し、配付済みの小学校向け学習キットのメンテナンスをおこなった。	前年度から参加者が若干減少したが、利用者の評価は高く、リピーターが多い。新規の利用者拡大が課題である。	2,157	教育庁	文化財課
120	さわやかちば県民プラザ事業	再掲	音楽ワークショップ、ザ・ワールドオブプラス、高校生バンドフェスティバルなどを実施する。	県民の自主的な文化活動の促進及び文化活動の機会の提供に向けて4事業を実施した。 ①音楽ワークショップ・概要:「柏の葉吹奏楽団」を結成し、吹奏楽の体験講座を実施した。発表の場として晩秋のコンサート、新春のコンサートを実施した。参加者:5,130人 ②東葛飾文化祭・概要:東葛飾地域の文化の発展に寄与する人材の育成を図るとともに、文化団体相互の親睦、交流を図り、芸術文化活動の促進の場として実施した。参加者:8,486人 ③ザ・ワールドオブプラス:概要:東関東地区(千葉県、茨城県、神奈川県、栃木県)の中学校、高校の吹奏楽部全23校がフロアマーチングの発表を実施した。参加者:6,951人 ④高校生バンドフェスティバル・概要:県内の高校生バンド22組が演奏を披露するコンサートを実施した。参加者450人	参加者自らが創り上げる文化活動を支援するとともに、文化活動が多く県民に触れる場となるよう広報も工夫した。	429	教育庁	生涯学習課

⑬「ちば」文化のブランド化による認知度向上と県民の誇りの醸成

No.	事業名	再掲	事業概要	令和6年度実施結果			担当部署名	
				実施結果	実施結果に対する評価	決算額 (千円)	部局名	課名(局名)
121	「ちば文化資産」PR事業	再掲	平成30年度に選定した「次世代に残したいと思う『ちば文化資産』」のPRを行い、ちばの文化的魅力を発信する。	①クリアファイル、パンフレット、ポスター等令和5年度に作成した各種PR資材の増刷し、観光・文化施設やイベント等で活用し、周知を図った。 ②観光部局と連携したフォトキャンペーン「あなたのLOVE CHIBA教えてキャンペーン Season13」を実施した。期間:9月1日～12月31日 ③SNSの投稿やHPによる情報発信やフリーペーパーへの広告記事掲載により周知を図った。	「ちば文化資産」に関連したキャンペーン等の実施やSNSの活用等により、千葉の文化的魅力を多くの方に周知できた。	1,686	環境生活部	スポーツ・文化局文化振興課
122	デュッセルドルフ市奨学生財団の受入れ	再掲	デュッセルドルフ日本奨学財団及び独日文化交流育英会から派遣された奨学生の訪問を受入れ、和服体験などを通じて、「ちば文化」を経験してもらう。	デュッセルドルフ日本奨学財団及び独日文化交流育英会から派遣された奨学生等を受け入れた。 日時:令和6年10月21日～22日 人数:7名(奨学生6名、引率兼通訳1名) 内容: ①成田山新勝寺訪問。 ②「県立房総のむら」で和服体験などを実施。	①千葉県の伝統ある名所を訪問し、日本の文化を感じていただくことができた。 ②千葉県の伝統的な生活様式や、和装の直接体験を通じて、千葉県の文化や歴史について学んでいただくことができた。	465	総合企画部	国際課